

特集：宮崎県内トップクラスの実績！

◆ 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(TAPP法)

安全で確実な低侵襲手術を地域の皆さまへ

古賀総合病院外科では、鼠径(そけい)ヘルニア、いわゆる"脱腸"に対して、低侵襲な腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)を積極的に実施しています。2024年の手術件数は宮崎県内でも最多クラスの実績を誇り、安全で確実な治療を地域の皆さまにご提供しています。

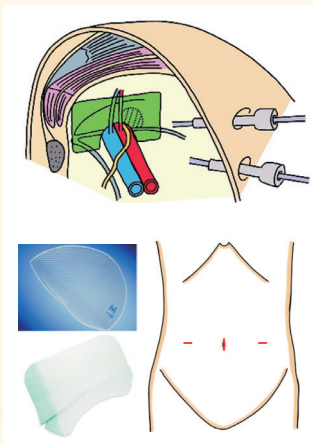
腹腔鏡下TAPP法の特長

小さな創部で痛みが少ない
3か所の小さな孔からカメラと鉗子を挿入。創部が小さく、術後の痛みや腫れが少ない。

再発予防に優れた修復法
腹腔内から直接ヘルニア門を確認し、メッシュで確実に補強。両側や再発例にも対応可能。

早期回復・早期社会復帰

術後の回復が早く、通常は数日で退院可能。整容性にも優れ、仕事復帰もスムーズ。



これまでの手術実績

(古賀総合病院 外科)

年度	腹腔鏡下 ヘルニア	開腹 ヘルニア
2024年	98件	38件
2023年	91件	51件
2022年	76件	47件
2021年	46件	58件

※上記は当院外科の鼠径・腹壁ヘルニア手術実績です。

当院の実績と取り組み

当院では経験豊富な外科チームが年間多数のTAPP手術を実施し、2024年は宮崎県内最多クラスの症例数を達成しました。安全性を最優先に、標準化とチーム体制を徹底。さらにセルフグリップ型メッシュなど新素材も導入し、手術時間短縮と疼痛軽減を実現しています。

鼠径ヘルニアは早めの受診を

鼠径部のふくらみや違和感は自然に治りません。放置すると腸がはまり込む"嵌頓"を起こすこともあります。気になる症状があれば早めの受診をお勧めします。

最後に

古賀総合病院外科は、今後も安全で質の高い低侵襲手術を提供してまいります。鼠径ヘルニアでお困りの際はご相談ください。

